

陸平通信

OKADAIRA 2022年10月1日発行
編集・発行 / 茨城県稲敷郡美浦村土浦 2359
美浦村文化財センター (陸平研究所)
☎ 029-886-0291 FAX 029-886-0471
Eメール :bunkazai@vill.miho.lg.jp

第Ⅱ期 111号

まが玉つくり



みんなであそぶ

夏の縄文体験 (まが玉つくり)

県指定文化財のレプリカが完成しました

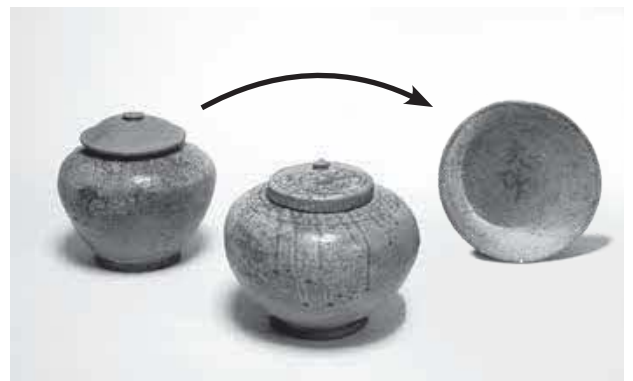
令和2年度より進めてきました茨城県指定文化財「信太入子ノ台遺跡出土蔵骨器」のレプリカがこのほど完成しました。完全な形で出土した平安時代の貴重な陶器で、展示や貸出による劣化を防ぐ目的でレプリカを制作しました。今後はレプリカによる活用が可能となります。

今回、期間限定で原品とレプリカの同時展示を行います。皆さんぜひご観覧ください。

展示期間：令和4年10月18日(火)～同11月20日(日)

展示会場：美浦村文化財センター展示室

※月曜・祝日休館 (月曜が祝日の場合翌火曜も休館)



信太入子ノ台遺跡出土蔵骨器 (県指定)

仰ぐ本堂巧の技に心洗わる宮の森 (日和吟社俚謡集より)

ものづくりに夢中…な夏休み

文化財センターでは夏の体験事業として8月にまが玉作り（16日）、どんぐりを使った時計・カレンダー作り（18日）、縄文土器作り（21日）、縄文クッキー作り（22日）、さき織り（21、22日）の体験をおこないました。コロナ禍のため人数も少なめでしたが、参加されたみなさんはそれぞれ時間を満喫してオリジナルの作品を作って楽しんでいる様子がうかがえました。

さて体験メニューのなかで分かりづらいのが縄文クッキー作りかもしれません。クッキー作りは縄文人が主食としていた木の実をすり潰して粉にするところからすべて自分で作るという縄文人の調理疑似体験です。参加者はどんなクッキーなのかよくわからずに作り始めますが、焼いていると美味しそうな少し甘い香り、そして試食してみると思っていた以上の美味しさにビックリしている様子がうかがえます。使う道具は縄文人が使っていたものを体験用に作ったものです。一度体験してみませんか。

9月には通算 34 回目となる好文亭梅朝さんによる梅朝基礎落語（4日）を開催し、創作落語が披露されたほか、毎年製作している安中小6年生の縄文土器作りもおこないました。

秋以降も文化財センターでは体験事業を予定しています。お知らせ情報は広報みほ、陸平通信をご覧ください。

縄文クッキー



まが玉作り

次回は12/11(日)

どんぐりカレンダー



梅朝基礎落語



さき織り



縄文土器作り

おかあさんと
土笛つくったよ!



土笛づくり

「美浦かるた」で知るみほの文化財

今回の札は「な」

七世紀 ななせいき 大宮神社 おおみやじんじや 建ちました た

陸平貝塚に隣接する大宮神社は村内でも古い神社で、天照皇大神、日本武尊、天太玉命の3柱が祀られています。

伝承によると、飛鳥時代の白雉元(650)年創立、当地にいた生田長者満盛が氏神として創建し、伊勢大社の分霊を迎えたこと、奈良時代にその姓名が安中という地名の由来になったともいわれる安倍仲成が、朝廷の勅許を得て正式に天照皇大神を迎え入れて安中郷二十四ヶ村の総鎮守となったことなどが伝えられています。

記録によると、天正3(1575)年に本社再建、元禄4(1691)年に本社再建と拝殿造営、その後、本社は大正9(1920)年の台風による倒壊のため大正10(1921)年に再建されています。近年では、平成24(2012)年に本社の修理がおこなわれました。

昭和63(1988)年には村史編さん委員会による社寺調査がおこなわれました。

本殿は桁行3間、梁間3間の本体に回縁

が設けられた規模の大きなもので、村内最大を誇ります。本殿の屋根の部分にみられる妻飾りは独創的で、本殿の上部にみられる唐草文や拳鼻などと呼ばれる彫刻は、江戸時代の元禄期特有のもので、

元禄期に大宮神社本殿にたずさわった大工が中世末から江戸時代初期の伝統的技法に加えて新時代の様式と両方の技術をこの地で用いていたことは興味深い点です。建築細部の様式から江戸時代に常陸国を中心に活動し、成田山新勝寺の三重塔などをつくった我が国を代表する宮大工桜井一門の作事によると考えられます。

※桁行、梁間は建造物の規模を表わす言い方

「美浦かるた」は、共に輝くみほの会(美浦村女性行政推進協議会)が制作した美浦村の魅力を紹介したかるたです。美浦かるたは美浦村HPでみることができます。

子育て・教育↓図書室↓美浦かるたで検索!

<https://www.vill.miho.lg.jp/page/page001902.html>



な

ななせいき
7世紀

おおみやじんじや
大宮神社

た
建ちました

おかだいら縄文フェスタ2022

陸平貝塚公園で体験と縄文の雰囲気満載のシンセサイザーコンサートを開催します。どうぞご来場ください。

◆10月22日(土) 体験・実演

(9:30~12:00、13:00~15:00)

【要予約】土笛・ミニ土器・縄文クッキー・花炭

【予約不要】絵手紙・弓矢・まが玉・竹炭焼き(実演)、
陸平貝塚見学ツアー(11時、13時)

◆10月23日(日) 縄文の森コンサート

14:00開演 定員60名(入場無料)

シンセサイザーコンサート/出演:松井びんしょう

ワークショップ(土器の太鼓をたたいてみよう)

陸平よはるかに合唱

【申込・問合せ】文化財センター ☎886-0291

ご来場の際はマスク着用など新型コロナ感染拡大予防にご協力をお願いいたします。



松井びんしょう

シンセサイザー奏者・映像作家・舞台演出家。陸平貝塚国史跡指定記念「縄文から未来へ」や陸平縄文ムラまつり、縄文の森コンサート出演、陸平貝塚をイメージした「時」など作曲。

美浦の歴史に関する資料を探しています

ご自宅の物置や押入れ、自治会の倉庫などに古い歴史資料が眠っていませんか。

文化財センターでは、地域の歴史に関する資料を収集・保存し、後世に伝えていく活動を行っています。美浦の歴史に関する古文書、絵図・地図、写真等、また古い襖(古文書が使われている場合があります。)などがありましたら、処分する前にご一報ください。

以下のようなものを探しています

- ・古文書
- ・昔の絵図・地図類
- ・当時の美浦を知ることができる写真、絵葉書など
- ・役場等から送付されてきた書類、冊子、印刷物など
- ・戦争に関わる記録(手紙、日記、写真など)



旧木原送信所(現村老人福祉センター)

新しい文化財の保護制度ができました

美浦村文化財保護条例が改正され(令和4年4月1日施行)、新たに「文化財登録」制度が設けられました。登録制度は、従来の保護・保存を主とした指定制度を補い、より多様な文化財を保護する目的で創設されました。登録制度の特徴は、文化財を活用しつつ次の世代へ伝えていくというもので、指定に比べその規制は緩やかなものとなっています。

登録は、美浦村や地域の歴史を物語る上で欠かせない文化財が対象となります。

(登録の相談・申請は、文化財センターにて随時受け付けております。)

陸平貝塚公園までの交通アクセス

【車】by car

常磐自動車道「桜土浦IC」より
国道125号バイパスで約40分
圏央道「稲敷」より15分

【バス】by bus

JR土浦駅より西口①バスのりば
木原経由江戸崎行き
「谷津入」下車 タクシーで約5分
または「大谷」下車 3.5km

